

宝石の科学




- 地球と人類がデザインした輝き -

講師：愛知大学 教授 西本 昌司

古くから人々を魅了してやまない「宝石」。多くは、地球の岩石に含まれる鉱物を原石としています。原石はどのようにして生まれ、どのようにカットされて、「宝石」として輝きを得るのでしょうか。講座では、科学的視点から宝石に迫ります。

特別展「宝石 地球がうみだすキセキ」が、
名古屋市科学館で夏に開催されます。会期：7月9日(土)～9月19日(月)
その監修に携わった講師が、特別展をディープに楽しめる話題を紹介します。

開催時間：午後2時～3時30分 開催場所：生涯学習センター 研修室

5/22(日)	宝石の種類と歴史  宝石というジャンルの中には様々なものがあります。有名なダイヤモンド、サファイヤ、エメラルドをはじめ、多様な種類が宝石として使われています。人々がどのような石に価値を見だし、宝石として磨き上げてきたのか、宝石の歴史をたどりながらお話します。
6/12(日)	宝石はなぜ輝くのか  宝石は、原石のままでは輝きません。輝きを引き出すためには、整形を施し磨き上げる「カット」という作業が必要になります。それは、宝石としての価値を高めるために、とても大切な工程です。 それぞれの宝石の特性と、それを生かしたカットについてお話します。
7/10(日)	宝石の原石は、どのようにしてできるのか  宝石の原石のほとんどは、地下で生成した鉱物です。地球の内部では、マグマやプレート運動などの地殻変動や化学反応が絶えず起きています。それらの地質作用によって生み出される鉱物の生成プロセスについてお話します。 地球が「宝石の惑星」であることを実感いただけるでしょう。

申込先：岩倉市生涯学習センター 電話 (0587) 38-0100